農林水産省登録
第２３２６６号

殺虫剤 アーデント®
フロアブル

病害虫防除の騎士が
果樹・茶を守る!!

適用拡大
りんご/
クワコナカイガラムシ、
コガネムシ類

〈写真はイメージです〉

適用作物
- りんご
- なし
- かき
- もも
- ネクタリン
- 小粒核果類
- おうとう
- ぶどう
- アボカド
- 茶
- 花き類・観葉植物

合成ピレスロイド系
殺虫剤分類 3A

普通物
毒劇物に該当しないものを指していう通称

アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類、シンクイムシ類など様々な害虫を防除!

アブラムシ類
（ユキヤナギアブラムシ）

シンクイムシ類
（モモシンクイガ）

ハダニ類
（ナミハダニ）

カメムシ類
（クサギカメムシ）

アザミウマ類
（チャノキイロアザミウマ）

オウトウショウジョウバエ

NICHINO
日本農薬株式会社

®は登録商標

殺虫剤

アーデント® フロアブル

●有効成分：アクリナトリン…6.0%　殺虫剤分類 3A
●安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）

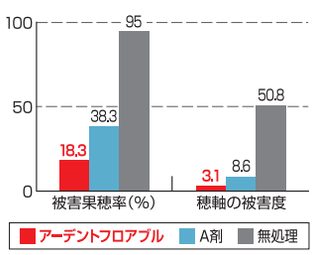
特長

1. 殺虫スペクトルが広いので様々な害虫を同時防除でき、難防除害虫（シンクイムシ類・アザミウマ類・ハダニ類・アブラムシ類等）にも有効です。
2. 多くの作物で収穫前日まで使用できます。※茶は摘菜14日前まで
3. フロアブル製剤なので収穫物への汚れが少なく、計量や希釈も簡便です。

試験成績

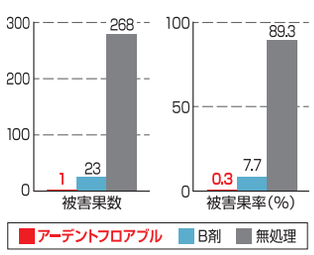
※公的機関での実用性評価のため、登録内容の使用液量、使用時期、使用回数とは異なる場合があります。

●ぶどう／アザミウマ類（チャノキイロアザミウマ）



日本植物防疫協会　山梨試験場（2011年）
品種：巨峰
区制：1区20.7m²、3反復
処理日：2011年7月8日（果実肥大期）・21日（果実肥大期）、8月3日（着色期）
散布液量：400ℓ/10a
発生状況：多発生
調査方法：最終散布27日後に各区から任意に20果穂を収穫し、翌日基準に従って穂軸の被害程度を調査した。

●りんご／シンクイムシ類（モモシンクイガ・スモモヒメシンクイ）



長野県果樹試験場環境部（2011年）
品種：ふじ
区制：1区1樹3連制
処理日：2010年6月22日、7月5日・14日・26日
散布液量：20ℓ/樹
発生状況：多発生
調査方法：最終散布14日後に1区100果を無作為に抽出し、被害果数（食入痕、脱出痕）を調査した。

適用病害虫及び使用方法

が2025年9月に適用拡大になりました。

<2025年9月現在の登録内容>

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アクリナトリンを含む農薬の総使用回数
りんご	シンクイムシ類、キンモンホソガ アブラムシ類、ハダニ類、カメムシ類 オオタバコガ クワコナカイガラムシ、コガネムシ類	2000倍	200～700ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
なし	アブラムシ類、ハダニ類 カメムシ類、シンクイムシ類 チャノキイロアザミウマ						
かき	カメムシ類、アザミウマ類 ハダニ類、カキノヘタムシガ						
もも ネクタリン	シンクイムシ類 アブラムシ類、ハダニ類 カメムシ類、アザミウマ類						
小粒核果類	ハダニ類、シンクイムシ類						
おうとう	オウトウショウジョウバエ	2000～4000倍					
ぶどう	アザミウマ類、ハダニ類 フタテンヒメヨコバイ、コガネムシ類	2000倍			4回以内		4回以内
アボカド	チャハマキ			収穫14日前まで	2回以内		2回以内
茶	カンザワハダニ チャノキイロアザミウマ チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ ヨモギエダシャク		200～400ℓ/10a	摘菜14日前まで	3回以内		3回以内
花き類・観葉植物	アブラムシ類		100～300ℓ/10a	発生初期	5回以内		5回以内

注意事項

●ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、本剤の連続使用はさけ、作用性の異なる他の殺ダニ剤と輪番で使用し、本剤の年間使用回数もできるだけ少なくするよう努めてください。
●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
③関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
④散布直後から2日後まではミツバチを移動させるか、巣門を閉じてください。
●蚕に対しては長期間毒性があるので、近くに桑園のある場合には絶対にかからないようにしてください。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
●のど、鼻、皮膚などを刺激する場合、また、かゆみを生じる場合があるので注意してください。
●散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
●かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
●夏期高温時の使用をさけてください。
●摘果等の作業の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。　●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

NICHINO
日本農薬株式会社
東京都中央区京橋1丁目19番8号
TEL：0570-09-1177　URL：https://www.nichino.co.jp/

2025年10月作成版（ZN）CA12510S